

2022年度 第3四半期決算について



2023年2月9日

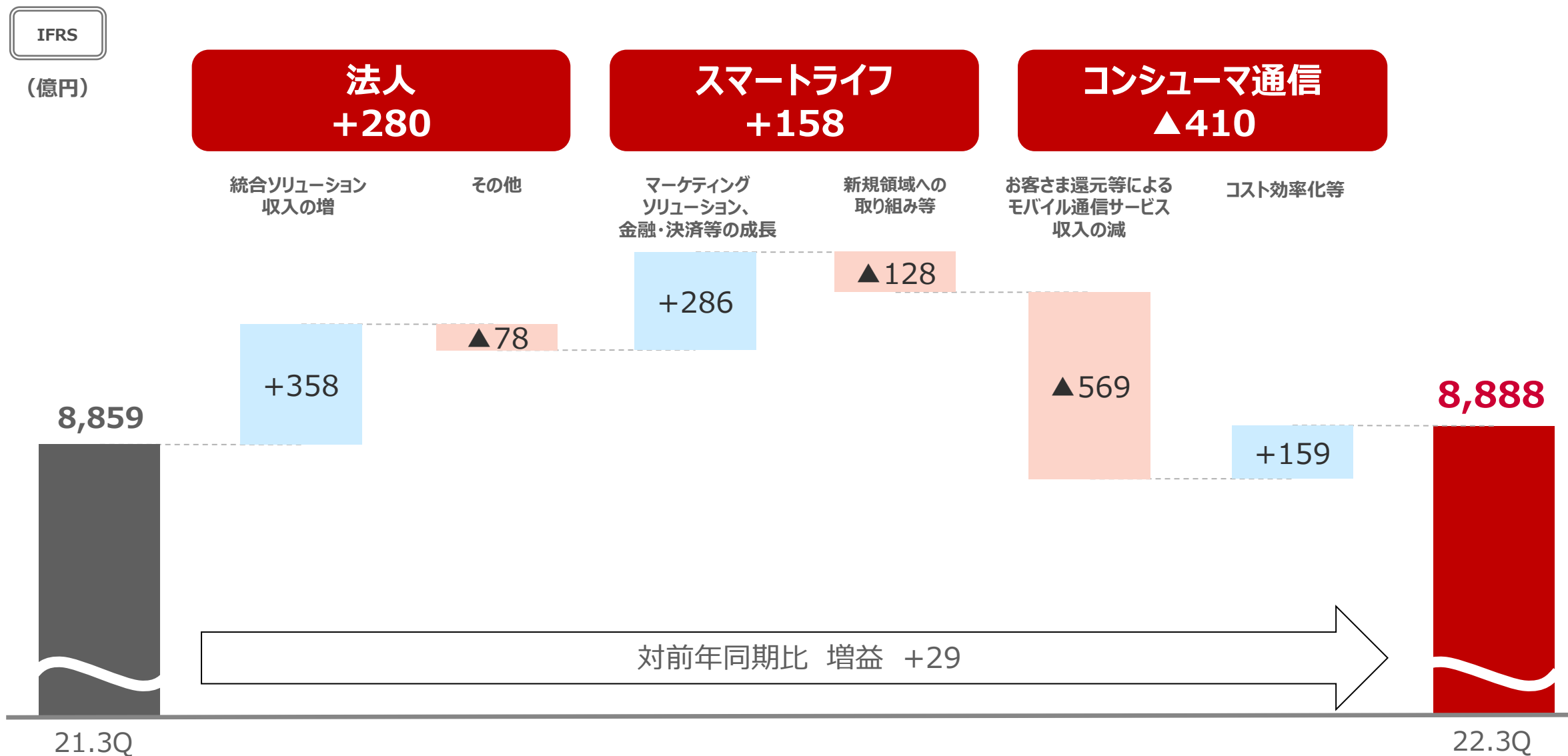
第3四半期 決算概況

IFRS (億円)	2021年度 3Q (1) ※	2022年度 3Q (2)	増減 (2) - (1)	増減率
営業収益	43,607	44,244	+637	+1.5%
営業利益	8,859	8,888	+29	+0.3%
当社株主に帰属する四半期利益	6,217	6,435	+218	+3.5%
設備投資	4,730	4,484	-246	-5.2%

セグメント別 実績

IFRS		2021年度 3Q (1)	2022年度 3Q (2)	増減 (2) - (1)
(億円)				
法人	営業収益	12,465	12,958	+493
	営業利益	1,945	2,225	+280
スマートライフ	営業収益	7,222	7,984	+762
	営業利益	1,627	1,785	+158
コンシューマ通信	営業収益	25,618	25,181	-436
	営業利益	5,287	4,877	-410

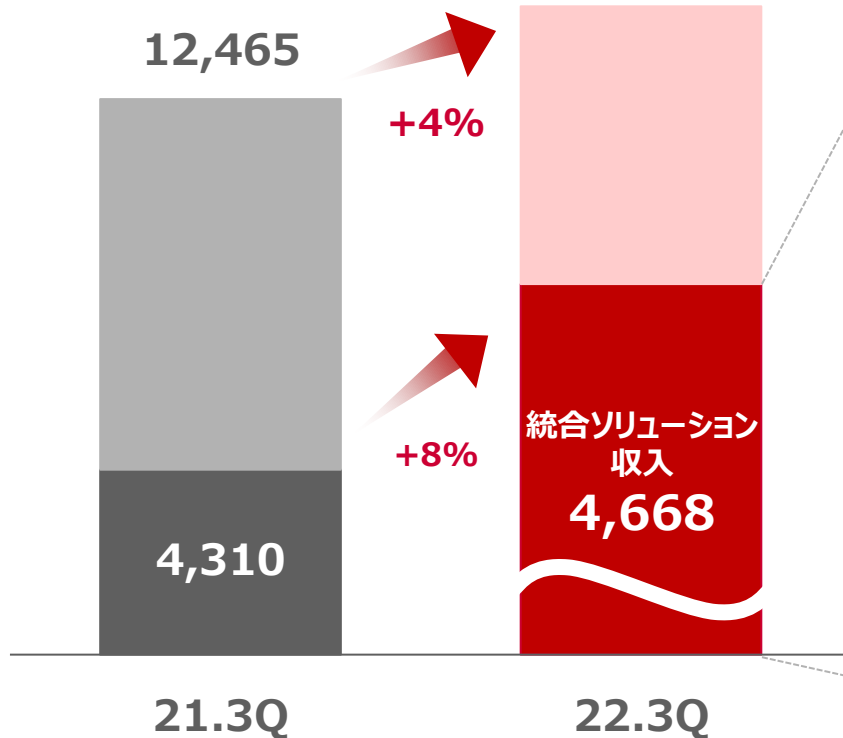
営業利益の増減要因



統合ソリューションの拡大に向けてIoTの取り組みを強化

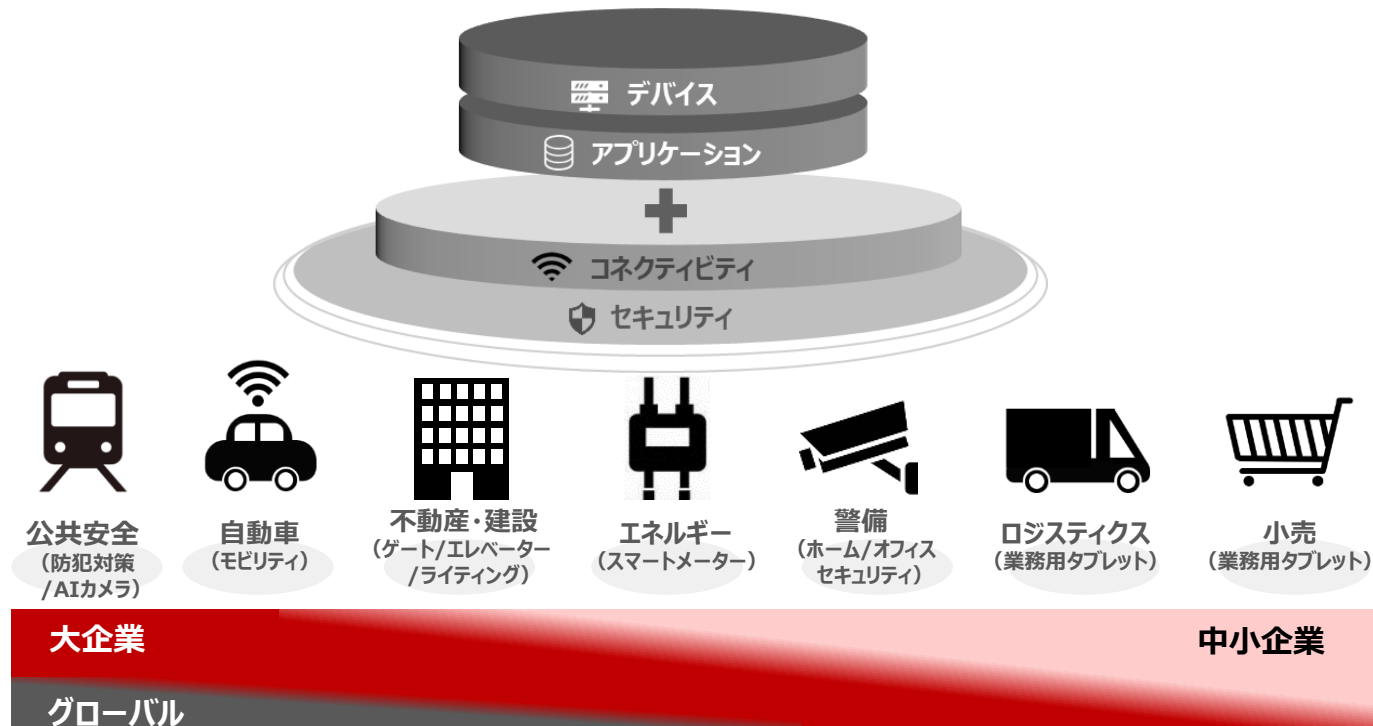
法人事業収入

(億円)



IoTソリューション

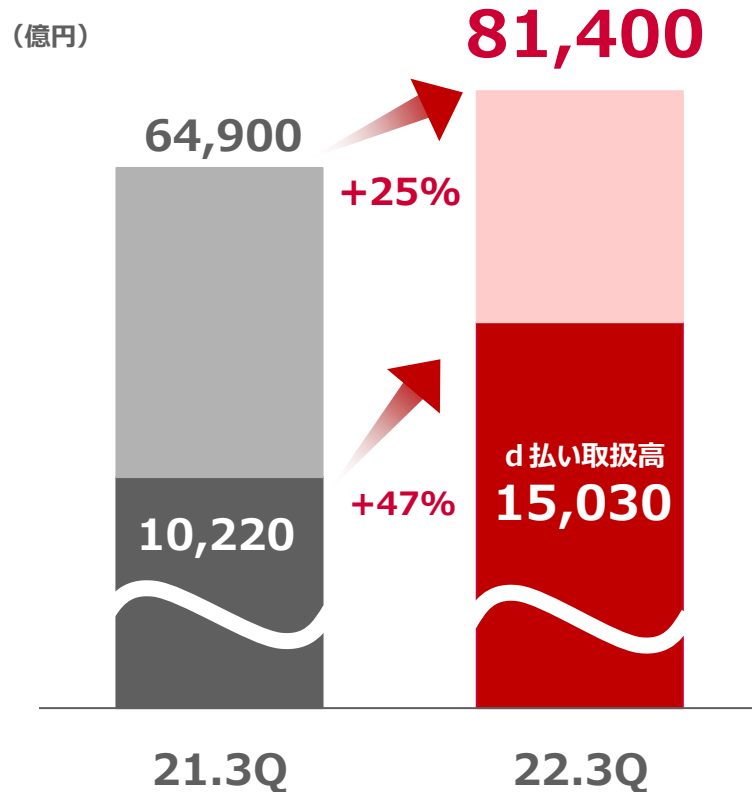
統合シナジーによりソリューション提供力が更に強化
各産業領域での水平展開を推進



スマートライフ事業

金融ビジネスとマーケティングソリューションは順調に拡大

金融・決済取扱高



マーケティングソリューション

パートナー様との施策によりデータを蓄積し、
データドリブンでのソリューションを提供

業種を超えたメーカー様との施策を
複数の加盟店様と合同で実施



購買情報の蓄積

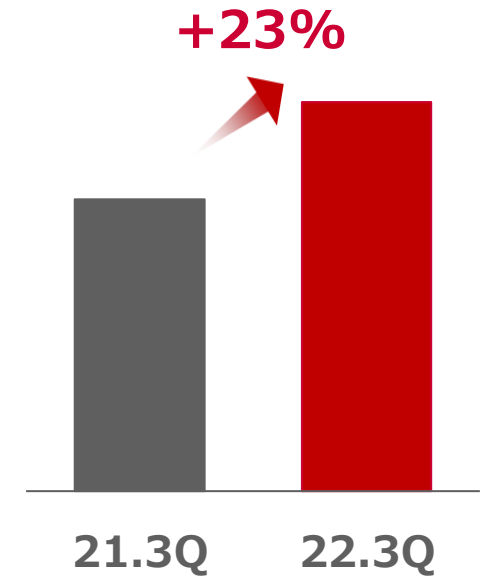


ドコモデータ活用

購買予兆の高い
お客様を分析

パートナー様と連携した
ダイレクトアプローチ

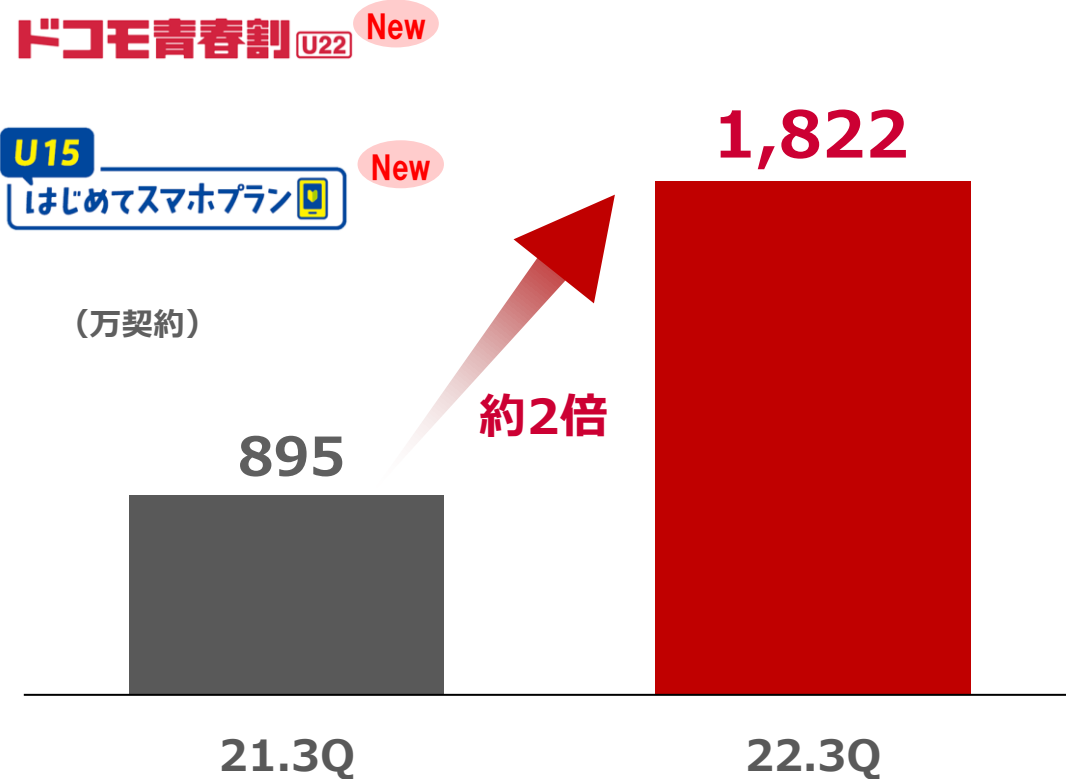
マーケティングソリューション収入



コンシューマ通信事業

料金・アフターサービス共にお客様選択肢を拡充

5G契約数の拡大



リユース・リサイクル推進の取り組み

即時修理

修理期間の短縮

最短**60分**で修理

その場で修理可能

データ移行不要

ドコモショップ店頭*1
(2022年9月～)



お客さまのご希望の場所*2
(2023年春開始予定*3)



- *1 一部対象店舗のみ
- *2 一部訪問できない場所を除く
- *3 東京都・沖縄県の一部エリアより開始

リユース品販売

docomo Certified

回収

下取り
プログラム

回線契約がなくてもOK!

いつでも
カイクイ プログラム

あなたと世界を変えていく。

^{NTT}
docomo

予想の前提条件その他の関連する事項

本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。